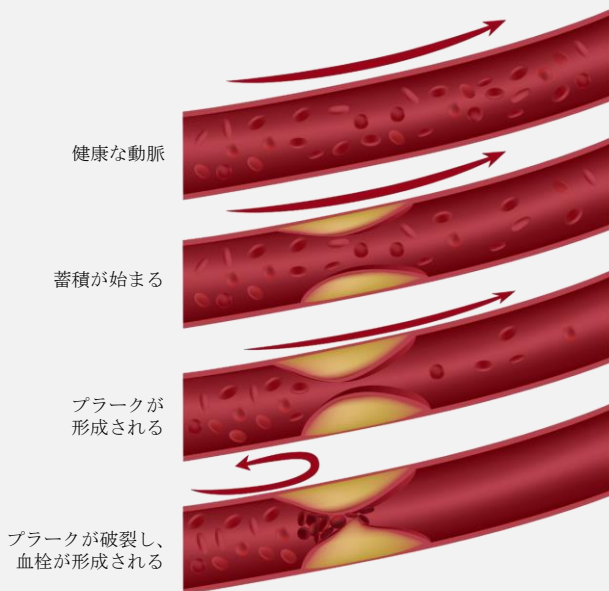


主要有害
心血管
イベントと
幹細胞治療



主要有害心血管イベント

動脈硬化の進行段階



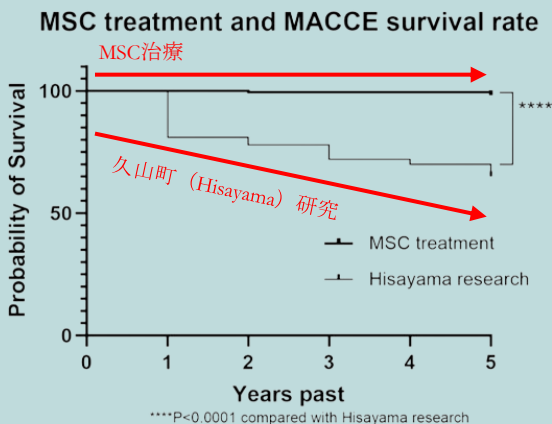
動脈硬化とは、動脈壁にプラークが蓄積することで引き起こされる動脈の肥厚および硬化を指します。このプラークは、脂肪性物質、コレステロール、細胞老廃物、カルシウム、フィブリンで構成されており、これらが蓄積することで動脈が次第に厚く、硬くなります。これにより、重要な臓器や四肢への血流および酸素の供給が妨げられます。

動脈硬化は非常にゆっくりと進行し、幼少期から始まることもあります。状況によっては進行が急速になる場合もあります。症状は徐々に現れ、影響を受ける動脈に応じて異なりますが、特に大動脈や冠動脈が閉塞すると、心臓発作や脳卒中、血栓などの重篤な合併症を引き起こすリスクが高まります。

HELENE 幹細胞治療の力

- 静脈内投与
- 炎症軽減
- 血管組織再生促進
- 線維化抑制

久山町 (Hisayama) 研究では、年々、一定数の患者がMACCE (主要有害心血管イベント) を発症し、そのたびに生存曲線が右下がりになりました。シンプルな医療処置のみを受けた対照群では、6年後にはMACCEフリー率が75%まで低下しました。一方、幹細胞 (MSC) 治療を受けたグループでは、6年経過後でもMACCEフリー率がほぼ100%を維持しており、対照群と比較して顕著な差が見られました。



当院の先進的なアプローチでは、幹細胞 (間葉系幹細胞) の強力な治療効果を活用し、炎症の軽減、組織再生の促進、線維化の抑制を通じて心血管疾患からの回復をサポートします。幹細胞は新生血管形成を促進し、組織修復と再生において重要な役割を果たしており、心血管疾患患者にとって新たな治療の希望をもたらします。幹細胞はそのパラクリン活性を介して成長因子やサイトカインを放出し、組織修復を促進すると同時に、炎症反応を抑制することで、治療に最適な環境を整えます。

HELENEクリニックでは、幹細胞療法の再生能力を最大限に活用し、心血管疾患に対する革新的なソリューションを提供することに尽力しています。私たちの目標は、患者の生活の質を向上させることにあり、最先端の治療法を提供することで、医学の進歩をリードし続け、最も効果的で革新的な治療をお届けする姿勢を貫いています。

